
アプリケーション理解

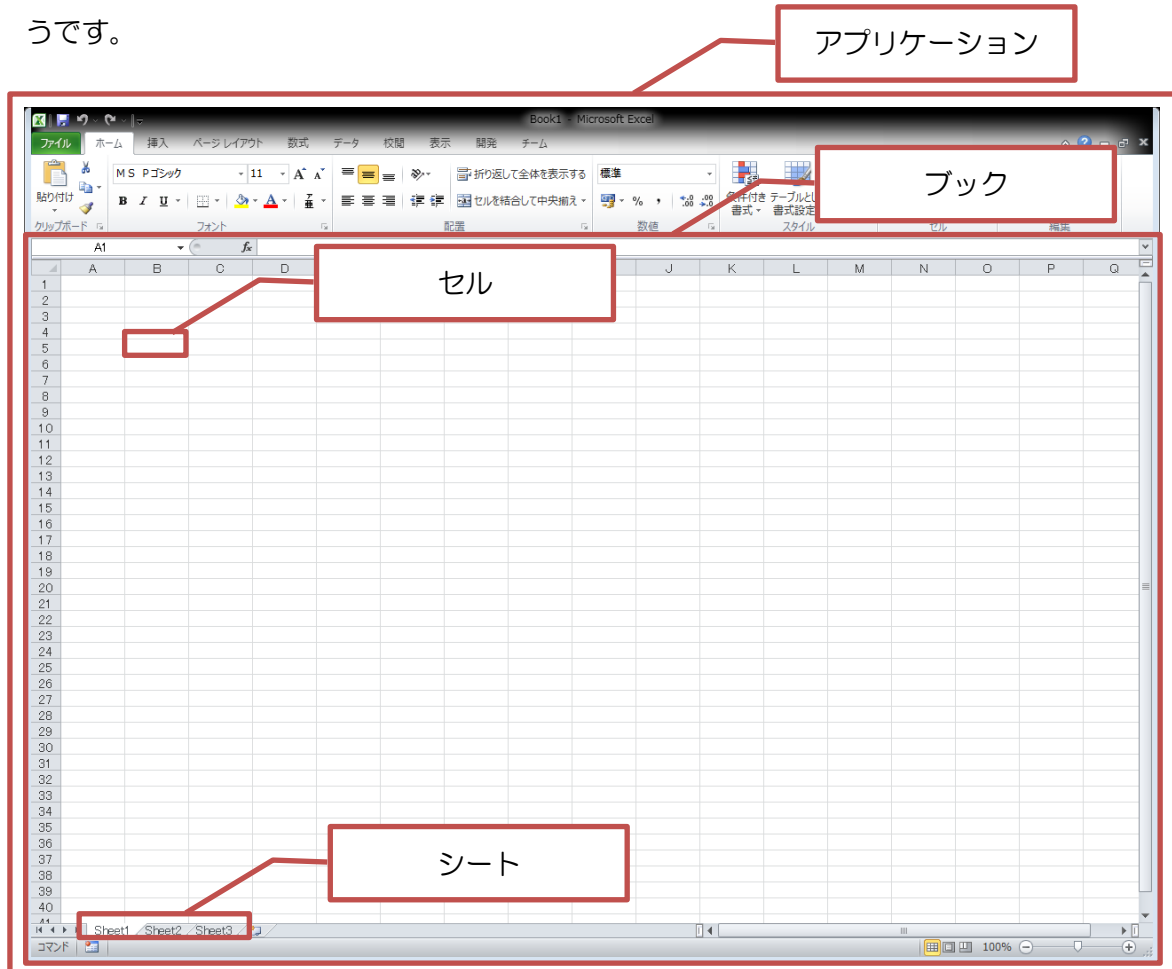
Excel VBA

【目次】

オブジェクトを利用する.....	3
プロパティ.....	4
メソッド.....	4
連続するセル（カレントリージョン）	5

オブジェクトを利用する

最近のプログラムは「オブジェクト指向」という理論で作られています。この Excel もそうです。



Application

Workbook

- Worksheet
- Range

階層構造になっている

たとえば、この階層構造を表現すると

```
Application.Workbook("Book1.xlsm").Worksheets("Sheet1").Range("A1")
```

となる。これは、Excel の Book1 ファイルの Sheet1 シートの A1 のセルという意味になる。

またこれらのオブジェクトは、「コレクション」という固まりをもっている。たとえば、Sheet1 と Sheet2 と Sheet3 は Worksheets という固まりを持っているが、一つの sheet としての Worksheet という1つのオブジェクトもある。これらは、ほかのオブジェクトにも適用できる。

プロパティ

各オブジェクトには、値、色、サイズなどの特徴がありそれを「プロパティ」といいます。

```
オブジェクト.プロパティ = 設定値
```

たとえば、

```
Worksheets("Sheet1").Range("A1").Font.ColorIndex = 3
```

メソッド

移動や削除などオブジェクトに直接操作できる命令を「メソッド」といいます。

```
オブジェクト.メソッド
```

たとえば、

```
Worksheets("Sheet1").Delete
```

```
Worksheets("上期").Select
```

```
Worksheets("上期").PrintPreview
```

のように使います。

課題：シートを追加するプロシージャを作成し、シートを作成しよう。

課題：今作成したシートを削除するプロシージャを作成しよう。

連続するセル(カレントリージョン)

カレントリージョンプロパティを使用すると、連続するセルを指定できます。

```
オブジェクト, CurrentRegion
```

データが連続してるセルは、一つの固まりとして使用できるので、その固まりに対してプロパティの切替等が行えます。

課題：B6 から F18 まで適当な表を作成しておき、その固まりに背景色を設定するプロシージャを作成しよう。

```
Sub 連続するセルに色を設定する()  
    Range("B6").Select  
    ActiveCell.CurrentRegion.Select  
    Selection.Interior.ColorIndex = 20  
    Selection.Range(Cells(1,1),Cells(1,5)).Interior.ColorIndex = 6  
End Sub
```

適当なボタンを作成し、今作ったプロシージャと接続してみよう。